



史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

No.16 旧島津家本邸 事務所 (現清泉女子大学 3 号館) 模型



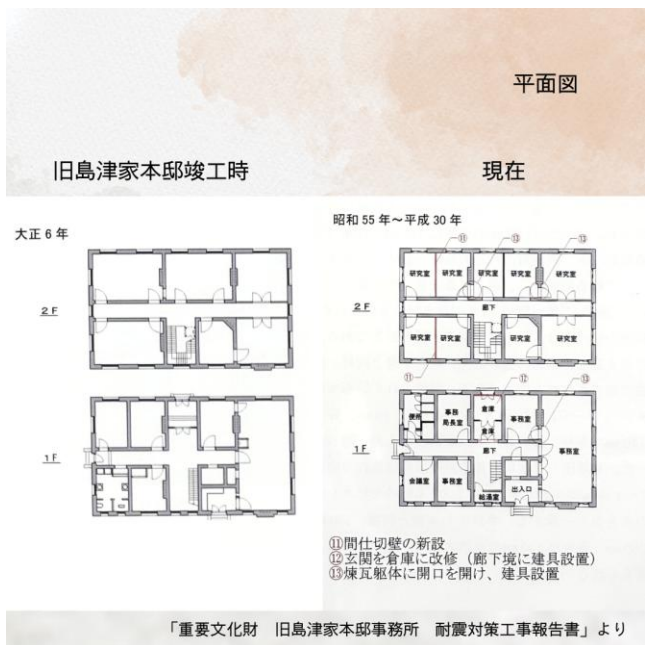
今回は、来室者に人気の展示品の一つである「旧島津家本邸 事務所」の石膏模型をご紹介します。史料室を訪れた学生からは「シルバニアファミリーのお家みたいでかわいい!」という声も聞かれる模型です。

この模型は、国の重要文化財に指定されている「旧島津家本邸 本館 事務所」のうち「事務所」（現清泉女子大学 3 号館）の耐震対策工事（2021 年 4 月～2022 年 6 月実施）の際に、建物図面に基づき 3D プリンターを用いて製作された石膏模型です。



この「事務所」は 1961 年に本学の所有となった当初、インターナショナルスクールとして使われ、その後は 1 階に大学の教室、食堂、事務室が入り、2 階は教員研究室と教室として使用されました。1965 年から 1979 年には修道院として使用され、1980 年以降は食堂、医務室、学生ホール、就職関係資料室、教員研究室、事務室等の様々な用途に使われた時期を経て、現在は 1 階が主として大学の事務室、2 階

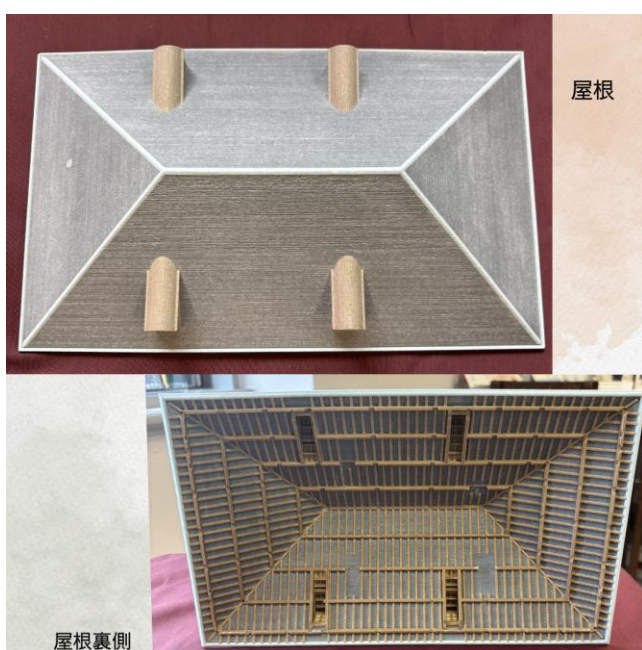
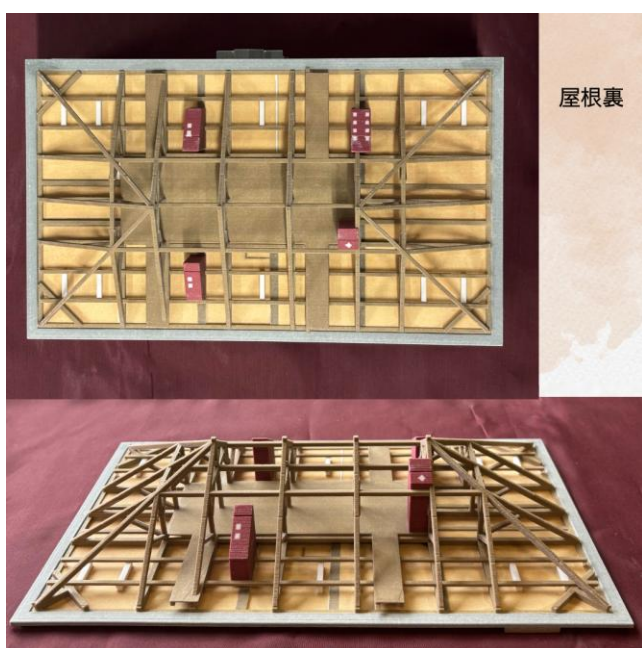
が教員研究室と大学史料室（2024 年より）として使用されています。



模型は 5 層構造（基礎部、1 階、2 階、屋根裏、屋根）で、間取りは模型製作時のものとなっており、この「事務所」が竣工したとみられる 1917 年当時よりも部屋数が多くなっています。

模型の屋根裏部分に見られる赤茶の柱のようなものは煙突で、その上部にある白い点は煙突の中を通っているパイプを表現しています。アメリカ映画などによくみられるサンタクロースが入ってくるタイプの煙突とは構造が異なります。現在、屋根上に出ていた煙突は取り外されているため、模型においても屋根上の煙突はありませんが、取り外された煙突と同様の煙突を本館の屋根上に見ることができます。





— 模型詳細 —

製作年	2021（令和3）年
材質	石膏
スケール	75分の1
サイズ	300 × 180 × 190 mm
図面制作者	(株)文化財保存計画協会
模型制作者	(株)竹中工務店

「史料室だより」は清泉女子大学公式Instagramにて連載中です。